

脳神経外科

スタッフ

役職 氏名	出身大学 ／専門分野	専門医 認定医
脳神経外科医長 副島 慶輝 (ソエジマ ヨシテル)	産業医科大学卒(平成12年) ／脳卒中の外科・機能的脳神経外科	日本脳神経外科学会 専門医・認定医 日本脳卒中学会 専門医・指導医
関門医療センター顧問 山下 勝弘 (ヤマシタ カツヒロ)	山口大学卒(昭和57年) ／脳卒中の外科	日本脳神経外科学会 専門医・認定医 日本脳卒中学会 専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会 技術指導医
脳神経外科医師 岡崎 光希 (オカザキ コウキ)	山口大学(平成27年)	

診療・研究内容

脳神経外科では脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷、機能的脳神経外科などの領域の疾患を対象とし、主に手術療法で治療しています。脳腫瘍には髄膜腫などの良性腫瘍と神経膠芽腫などの悪性腫瘍があり、良性腫瘍では開頭腫瘍摘出術を行い、悪性腫瘍では手術に加えて放射線治療や化学療法を併用します。脳卒中の中で外科治療の対象となる疾患は、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血、高血圧性脳出血、脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症です。脳動脈瘤破裂の治療法には開頭クリッピング術と血管内治療による動脈瘤コイル塞栓術があり、症例ごとに治療法を選択しています。頸動脈狭窄症の治療法には直達手術の頸動脈血柱内膜剝離術と血管内治療によるステント留置術があります。直達手術を優先しますが、全身麻酔が困難な症例などではステント留置術を行います。頭部外傷の頭蓋内出血は急性硬膜下血腫などの急性出血と慢性硬膜下血腫に分類され、前者では開頭血種除去術を、後者では穿頭血種除去術を行います。機能的脳神経外科の対象となる症状は、三叉神経痛、顔面けいれん、脳卒中後の筋痙縮、パーキンソン病の振戦などです。三叉神経痛と顔面けいれんでは後頭下開頭による微小血管減圧術で治療します。筋痙縮では腹部にポンプを埋め込み、バクロフェンを脊髄腔に投与します。

脳神経外科では診療のみでなく、臨床研究にも力を入れています。新薬の臨床試験では、第3相試験(*)が進行しています。

*急性期虚血性脳卒中または高リスク一過性脳虚血発作後の脳卒中の再発抑制を目的とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性および安全性を検討する第3相ランダム化、二重盲検試験(Librexia Stroke試験)

実績

○手術件数

	件数
脳腫瘍	6
破裂動脈瘤(開頭)	4
虚血性疾患(吻合/CEA)	5
脳内出血	6
外傷	5
慢性硬膜下血腫	39
水頭症	10
定位・機能外科	2
血管内手術	4
その他	15
合計	96



(山下 勝弘)